てんぎょ新聞

'14.6.No.204
発行責任 南原国夫
0883-86-6292

今年こそ!! どうこそ!!

6.22 日曜日 AM10:00~ オープンカフェ 多肥屋

三回目のオープンカフェが今月二三日(日)、一日オープンです。お茶(煎茶前)がメインですが、地元産を使ったランチもできます。山菜を使ったお菓子も用意出来るかも知れません。特別コーヒーもありますので、ご用意に立ち寄り下さい。場所は、前回同様、若林地区高瀬線です。

山の日 お出来る

自然界では、今年はよく見かけますが、モミジロチョウは少ない気がします。逆にツバメという鳥はいっぱい飛んでいます。何かが起きるのかも知れません。

ニュースがありました。祝日がまた増えるそうです。祝日にならないと休めないのはどうかとおもいます。

別の記事には、勤労者には、勤労感謝の日を祝日にしないで休めないのはどうかとおもいます。

祝日には、連休中ですから時祝日を増やすより、有給休暇をきちんと消化出来る方が大切ではないでしょうか。

平和は退屈

という英米のリテラシーの話がありますが、退屈させない様に、某国的自衛権力行使特論武力ですから、「殺すか殺されるか」をめざす安部という人に同調している国民の代表といわれる面々は、退屈の平和を好きではないのでしょう。

退屈では、殺されるのは、国会議員という特権階級の人達ではなく、親や子供という普通の人々が多数ですから、まずは、退屈社会の職場である、紅葉、排泄期、泥遊社会、

緑が深くなり、気がつけば夏の陽差し。とはいえ、大変気持のよい季節です。五月半ばには、遠くばワクワクするアサキにダラも収穫。それからもう数回私の前に来てくれました。まだお好みの苗は咲いてないのに、エサは何を食べるのでしょう。

また、朝七時頃までには、ヨガ学ウピンの鳴き声も毎日聞こえて来ます。約束にように顔を見せてくれるのが、それだけが嬉しい一日がはじまります。

ホトトギスを屋内だけでなく、静かな裏の庭に鳴き声が響いてきます。

そんな自然界の動きの中に、人間の世界では、イヤなニュースが多くていやになります。

今年も様々な山野草が咲く時期ですが、人間の心を持ちかえる人が少なくないのに困りものです。

人が管理をしたり、少なくなるので、増やして自生地に植えかえりしている一方では、平然と盗掘している。注意をすると逆上の暴挙がないし「お前さんの土地かしと開き直る始末。国定公園内ではおかまいなし。この国の人は、どうなってしまったのかろう。自分だけおかってらいいのでしょうか。この風土が「絆」が言われているようなのに。